**令和　年度 SDG-X リーディングプロジェクト**

**事業構想**

※□で囲まれた部分は記入上の注意事項です。提出の際には、削除してください。

※フォントは**10.5ポイント以上**を厳守してください。

**１　事業構想**

　2030年までに実現すべき姿を達成するための事業構想について記載していただきます。

**（１）目指すべき姿と社会課題**

**①2030年に目指すべき姿**

事業を通じて、**2030年に実現したい社会像を具体的に記入**してください。

**②社会課題**

**事業を通じて解決しようとする社会課題は何か、その社会課題が生じた原因、解決にあたり何が障害であり、何に取り組む必要があるのか等を**具体的に記述してください。

**（２）事業内容**

**①事業の理念（パーパス）・社会的インパクト及び事業内容**

「②社会課題」を解決するために、**本事業がなぜ必要なのか、事業の何が社会像の実現に関わり、どのような社会的インパクト（※）を与えることで社会像の実現に寄与するのか**を具体的に記入してください。

**どこで、誰と協働して、何に取り組み、誰をターゲットに、どのように取り組み、何を生み出すことで、どのようにして社会課題を解決するのか等を、**具体的に記述してください。

※社会的インパクトとは、「短期、長期の変化を含め、本事業の結果として生じた社会的、環境的なアウトカム」を指します。

**②補助期間中の取り組み**

・**補助期間の終了時に、「①2030年に目指すべき姿」を実現するために何をどこまでを完了させるのか**、具体的に記述してください。

・具体的には、補助期間の終了時に、**どこで、誰と協働して、誰をターゲットに、何をして、何を生み出し、どのような状態を実現させるのか等を**具体的に記述してください。

**③補助終了後の取り組み**

・**補助期間終了後、「（１）2030年に目指すべき姿」の実現に向けて、どのような取り組みを行っていくの**か、具体的に記述してください。

・具体的には「**どこで、誰と協働して、誰をターゲットに、何をして、何を生み出し、いつまでにどのような状態を実現させるのか等**を記述してください。

**④目標（成果指標）**

**補助期間中に、「２　ロジックモデル（※）」に記載した「直接の結果（アウトプット）」及び「補助期間の成果（初期アウトカム）」の達成を目指していただきます。**

**・補助期間中に達成を目指す目標（アウトプット、アウトカム指標）を記載してください。**

**・その目標を設定した理由及び設定数値が適切である根拠を記載してください。**

※目標については、**「２　ロジックモデル」の「アウトプット及び初期アウトカム」に記載した、いずれかの項目の達成度合いを測るための指標**とし、**可能な限り、定量的かつ複数項目**を設定してください。

※アウトプットとは「事業を通じて提供するサービス等を指し、事業や活動の直接の結果」、アウトカムとは「事業・活動の直接の結果（アウトプット）がもたらす変化、便益、学びその他効果」を指します。

　例えば、「グリーンから始めるインパクト評価ガイド」（環境省 令和3年3月26日）では、事例として、再生可能エネルギー発電所を建設し、気候変動の緩和に貢献することを目的とする事業を実施する場合、アウトプットとして「再生可能エネルギー発電所の建設」、アウトカムとして「温室効果ガス排出削減」が挙げられています。

※ロジックモデルとは「「もし～ならば、こうなるだろう」という仮説のもと、資源、活動、直接の結果、成果を繋ぎ合わせたもので、事業が成果を上げるために必要な要素を体系的に図示化したもの」を指します。

**⑤目標の達成方法**

「②目標（成果指標）」において設定した目標（アウトプット・アウトカム指標）について、**具体的な実施項目と実施項目ごとの期間・対象（人・地域・組織）等を箇条書きで記載してください。**

**（３）交付要件**

**①「経済・社会・環境」の各側面における効果**

**ＳＤＧｓは、「経済・社会・環境」に統合的に取り組むことが必要**です。ついては、**事業を実施することで、「経済・社会・環境」の三側面に、どのような効果がもたらされるのか、記述してください。**

また、**それぞれの側面において、実現に寄与するSDGsの17のゴールや169のターゲット（※）と、実現を阻害しないように留意するSDGsの17のゴールや169のターゲットを記載**してください。

※可能な限り、複数のゴール・ターゲットの実現を目指してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | **効　果** | **実現に寄与するSDGsのゴールやターゲット** | **実現の阻害に留意するSDGsのゴールやターゲット** |
| **経済面** |  |  |  |
| **社会面** |  |  |  |
| **環境面** |  |  |  |

**②「北九州市ＳＤＧｓ未来都市計画」とのつながり**

本補助金は、**「北九州市ＳＤＧｓ未来都市計画」が示す「５つのまちの姿」の実現に寄与する事業を実施することが必要**です。ついては、**補助事業が、上記「５つのまちの姿」のうち、どのまちの姿の実現に寄与するのか**を記載し、**なぜ補助事業が、選択したまちの姿の実現に寄与するのか**、その理由を記載してください。

また、「２　ロジックモデル」で設定した目標（アウトプット・アウトカム指標）が**「北九州市ＳＤＧｓ未来**都市**計画」のどの指標又は具体的な取組例に寄与しているか及びその理由を記載**してください。

＜参考＞「５つのまちの姿」

　①社会課題解決につながる「持続可能なビジネスが生まれ、育つまち」

②ダイバーシティの推進による「みんなが活躍できるまち」

③SDGsを踏まえた教育の実践による「未来の人材が育つまち」

④環境と経済の好循環による「ゼロカーボンシティを目指すまち」

⑤アジア諸都市を中心とした「世界のグリーンシティをけん引するまち」

**③社会実装の可能性**

国・県・市及びこれらの関係団体が実施する補助制度等により、**実証段階を終えて社会実装の段階に到達している旨等、補助期間内に事業の社会実装が可能である理由**を記載してください。　※上記の理由を証明できる書類があれば、添付してください。

**２　ロジックモデル**

**実現に寄与するＳＤＧｓのゴール**

「１ 事業構想 (3)交付要件 ①「経済・社会・環境」の各側面における効果」に記載した「実現に寄与するSDGsのゴール」を記載してください。

※グレーの網掛けの記述は提出時には削除してください

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | **補助期間** | **補助期間終了後** |
| **インプット****（資源）** | **活動** | **直接の結果****（アウトプット）** | **補助期間の成果****（初期アウトカム）** | **中間成果****（中間アウトカム）** | **最終成果****（最終アウトカム）** |
| **達成年** | **○○年** | **○○年** | **○○年** | **○○年** | **○○年** | **○○年** |
| **項　目** |  |  |  |  |  |  |
| **ＳＸの取組** |  |  |  |  |  |  |
| **ＤＸの取組** |  |  |  |  |  |  |
| **ＧＸの取組** |  |  |  |  |  |  |

**実現に寄与する「北九州市ＳＤＧｓ未来都市計画」の「まちの姿」**

「１ 事業構想 (3)交付要件 ②「北九州市SDGs未来都市計画」とのつながり」に記載した「５つのまちの姿」を記載してください。

※グレーの網掛けの記述は提出時には削除してください

**ＤＸ・ＧＸの取組によるまちの変革**

ＤＸ・ＧＸの取組に取り組むことで、どのようにまちの変革につながるのか記載してください。

※グレーの網掛けの記述は提出時には削除してください

**（１）ロジックモデルの詳細**

**①最終成果（最終アウトカム）について**

**なぜ、この最終成果（最終アウトカム）を設定することとしたのか、「１ 事業構想」に提示した2030年に目指すべき姿や社会課題の解決にどのようにつながるのか、**具体的に記述してください。**また、当該成果の達成度合いを測るための成果指標を記載してください。**

※成果指標については、５ページの**「２　ロジックモデル（※）」に記載した当該成果のいずれかの項目の達成度合いを測るための指標**とし、**可能な限り、定量的かつ複数項目**を設定してください。（定量化が困難であれば、定性的な記載でも構いません。）

**②中期成果（中間アウトカム）について**

**なぜ、この中期成果（中間アウトカム）を設定することとしたのか、どのように長期成果（最終アウトカム）につながるのか、**具体的に記述してください。

**また、当該成果の達成度合いを測るための成果指標を記載してください。**

※成果指標については、５ページの**「２　ロジックモデル（※）」に記載した当該成果のいずれかの項目の達成度合いを測るための指標**とし、**可能な限り、定量的かつ複数項目**を設定してください。（定量化が困難であれば、定性的な記載でも構いません。）

**③補助期間の成果（短期アウトカム）について**

**なぜ、この補助期間の成果（短期アウトカム）を設定することとしたのか、どのように中期成果（中間アウトカム）につながるのか**、具体的に記述してください。

**また、当該成果の達成度合いを測るための成果指標を記載してください。**

※成果指標については、**２ページの「④目標（成果指標）」で記載した指標を記載してください。**

**④直接の結果（アウトプット）について**

**なぜ、この直接の結果（アウトプット）を設定することとしたのか、どのように補助期間の成果（短期アウトカム）につながるのか**、具体的に記述してください。

**また、当該成果の達成度合いを測るための成果指標を記載してください。**

※成果指標については、**２ページの「④目標（成果指標）」で記載した指標を記載してください**

**⑤インプット（資源）について**

**なぜ、この活動を設定することとしたのか、どのように直接の結果（アウトプット）につながるのか**を、**自団体が持つネットワークや資源（人材、実施体制、施設、設備、活動資金、知的財産、情報など）、協働する組織との連携体制など、他団体が実施する場合と比較し、自団体が実施する場合の優位性を踏まえ**、具体的に記述してください。

**３　事業のポイント**

**（１）先進性・独創性**

事業が、従来にはない、または既存の製品・技術・サービス等を活用するなどして、**先進性、独創性を生み出している点**を記載してください。

**（２）汎用性**

他の事業者や他地域において、将来的に補助事業を応用することで、**汎用的な展開が期待できる点**を記載してください。

**（３）スコープ３**

**調達や廃棄等の段階までを含めた事業プロセス全体において、どのようにＳＤＧｓへの配慮を行っているか**を記載してください。

**（４）ステークホルダー等との連携**

事業に協力する又は関与する組織等について、**誰が、どのような役割分担を行い、どのような責任を負うのか**記載してください。

※実施体制図を添付してください。

**（５）計画と乖離が報じた場合の見直し体制**

**事業が計画から乖離した場合の見直し体制・手法**をどのように検討しているかを記載してください。

**（６）事業終了後の継続可能性**

**補助期間終了後も、継続して事業を実施できる計画や体制等、資金の調達方法等をどのように検討しているか**を記載してください。

**４　その他**

**（１）他の補助金等への申請状況**

国・県・市及びこれらの関係団体が実施する補助制度等に、本事業と同一の事業で応募している場合は、その制度名称及び実施期間を記載してください。

**（２）情報提供**

事業が採択された場合、本市が、当該事業及び本補助金制度の事業評価に必要な情報提供を求めたときは、情報を提供することに、最大限ご協力をお願いします。

※提供いただいた情報については、上記の用途以外に使用しません。